

14. 腎がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術			化学療法	インターフェロン療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
			開腹手術	腹腔鏡下手術	腹腔鏡下小切開手術						治療内容	治療実績	医師の専門分野
1 泌尿器科	3	3	状況 ○	○	×	○	○	×	低侵襲を基本とした集学的治療	ア http://www.noe.saiseikai.or.jp/shinryoka/hinyoukika	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績 あり	あり	なし	あり	なし	なし		イ http://			
2 放射線治療科	1	1	状況 ×	×	×	×	×	○		ア http://www.noe.saiseikai.or.jp/shinryoka/houshasen_c	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績 なし	なし	なし	なし	なし	あり		イ http://			
3			状況							ア http://			
			実績							イ http://			
4			状況							ア http://			
			実績							イ http://			
5			状況							ア http://			
			実績							イ http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:腎細胞がん 腎細胞がん
------------------------------------	------------------